

# 市民のふれあい、生きがい、健康づくりに打撃

# 公民館・学供などの有料化・値上げやめよ

公民館や学供、布袋ふれあい会館などの使用料を無料から有料にするなどの値上げ計画を市が発表しました。3月末まで、市民から意見を募集するパブリックコメントが実施されています。また同時に、各施設の利用者に対しては、施設入口などでアンケートが実施されています。

市は4年前にも値上げ・有料化計画を発表しましたが、市民やサークル団体から「これでは活動が続けられない」

「高齢者の楽しみを取り上げないで!」「有料化でむしろ市の負担が増えるだけ、意味がない」といっせいに反対の声があがり反対の署名活動も展開されたため、市は断念。消費税10%増税時に合わせて実施しようと、今回再度、提案されたものです。

## 発表された有料化・値上げ案(一部)

施設名	現行	改定案	単位
古東公民館(他の公民館も同様)			
会議室	無料	→ 410円	2時間
実習室	無料	→ 340円	2時間
宮田学供(他の学供も同様)			
学習室(1F)	無料	→ 200円	2時間
集会室(2F)	無料	→ 630円	2時間
老人福祉センター(中央コミュニティセンター)			
風呂	無料	→ 100円	1回
会議室1	無料	→ 230円	2時間
蘇南パークゴルフ場	無料	→ 100円	1ラウンド1人
市営グラウンド(全面)	無料	→ 570円	2.5時間
体育館アリーナ	1,780円	→ 2060円	2時間
文化会館第一会議室	2,940円	→ 3140円	2時間



無料だから、年金暮らしでも気軽に利用できます。元気に過ごすための大切な場を奪う、有料化・値上げは絶対に止めて下さい。

ひきこもり老人をわざわざ増やすのが市の仕事ですか？

## 今後も5年ごとに1.3倍ずつ値上げ

使用料の決め方では、4年前の計画時には施設建設費や職員の退職手当費用まで利用者負担に含めようとして強い批判を浴びたことから、今回はこれらを使用料の計算に含めていません。また、当初市は、見直しに対する考え方のみを示し、具体的な改定額を示さずアンケートを行う予定でした。これも批判を浴びて是正しました。

激変緩和措置として今回の改定では、市がめざす使用料金額の59%に抑え、今後5年ごとに1.3倍ずつに値上げして、平成39年には「受益者負担と公費負担の完全な適正化を目指」すとしています。

改定案の金額が比較的安く抑えられているのは、そのためです。「この程度なら我慢できる」と黙っていると、あとで大変なことになるります。

(地方自治法第244条)

## 公の施設は住民の福祉を増進する目的で市が設置する施設です

## 有料化へ誘導するアンケート実施は許されません

3月初めから利用者向けに始まったアンケートを見た市民から「これはひどい!まるで誘導だ。利用する人が迷惑者のようだ」「市の役割がわかっていない」との声が寄せられました。アンケートの質問の一部を紹介します。

自治体が公の施設を市の予算で建設し、維持管理することは、住民誰もが健康を維持し教養を高めることができるように等、住民福祉を増進する目的をもった大切な市の仕事です。

受益者(利用者)負担ばかりを強調して、無料施設が高齢者の生きがいや健康づくりに果たしている大事な役割を考慮しない「アンケート」は大問題。また利用者や市民に対し説明の場も設けず、わかりにくいパブリックコメントやアンケートだけで済まそうとする市の対応は、市民との対話重視の市政とは程遠いものです。

利用者アンケートやパブリックコメントに、どしどし意見をあげましょう(締め切りは3月末です)

パブリックコメントは江南市HP→市民参加(パブリックコメントなど)→市民参加の手続き→現在受付中の案件



## 実施中の利用者アンケート(一部)

質問6 施設の維持管理や運営には費用がかかりますが、この費用は何によってまかなわれるべきだと思いますか。

1. すべてを施設利用する人の負担(使用料)でまかなう
2. 施設利用する人の負担(使用料)と市民全体の負担(税金)でまかなう
3. すべてを市民全体(税金)でまかなう
4. わからない

質問7 将来にわたって安定した施設サービスを提供するために、使用料の見直しを行うことについてどのように思いますか。

1. 現在のサービス水準を保ち、将来にわたって施設を長く利用するためにも、無料施設の有料化を含め見直すべき
2. 見直しにより値上げすることはやむを得ないが、施設や備品の整備を適正におこなうべき
3. 現在のサービス水準を抑えて、現行を維持または値下げすべき
4. わからない
5. その他( )